



入間市のSDGsの
取組を紹介するよ！

SDGs未来都市 入間市

Well-being City いるま

～健康と幸せを実感できる未来共創都市～



世界中の国が、同じゴールに向かって協力して取り組んでいるSDGs（エス・ディー・ジーズ）。日本でも様々な取組が進められているよ！

「SDGs未来都市」はSDGsの取組をおし進めるために、他の自治体のモデルになるような先進的な取組を進めている都市や地域を、国（内閣府）が選定しているんだ！

ぼくたちの住む入間市は2022年にSDGs未来都市に選定されたよ。



入間市マスコットキャラクター いるティー

SDGsとは・・・

SDGsは「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称で、2015年に国連で採択された国際目標。

「誰一人取り残さない」を合言葉に、経済・社会・環境の3側面のバランスをとって現在の世代も将来世代も豊かに暮らせる世界を実現するために、17のゴールを掲げ、2030年までに達成することを目指している。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

入間市は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています

今を生きるぼくたちも、これから生まれてくる人たちも、みんなが豊かに暮らせるための目標なんだね！



入間市の進めるSDGs

「入間市SDGs未来都市計画（2022年8月）」を策定し、SDGs達成に向けた取り組みを進めています。テーマは、2030年に「誰もが心身ともに健康で幸せを実感できるまち「Well-being Cityいるま」」を実現すること。市や市民だけでなく、民間企業や学校・団体と連携し、そのノウハウを活かしながら、地域資源を活かした未来共創のまちづくりに取り組んでいます。

「Well-being（ウェルビーイング）」は、心も体も、人との関わりの面でも満たされた状態のことを言うよ！

経済・社会・環境、それぞれの面での取組を進めることで、入間市に住む人も仕事や観光、いろいろな場面で入間市と関わる人も、みんなが健康と幸せを実感できるようなまちづくりを進めているんだ。

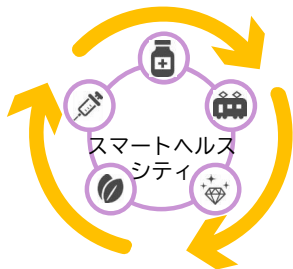


①～③の取組を通して、「Well-being Cityいるま」の実現を目指しているよ。

- ①入間市の魅力や資源を活かして市内のにぎわいを維持したり生み出したりする経済面の取組「スマートヘルス・シティ」の実現
- ②年齢や住む場所に関わらず、元気に快適に過ごせるような支援を充実する社会面の取組「ウェルネス・シティ」の実現
- ③将来の世代も暮らし続けられる自然環境を残していくための環境面の取組「ゼロカーボン・シティ」の実現



経済面の取組「スマートヘルス・シティ」の実現



今の世代と将来の世代、どちらの豊かさも損なわないようにしていくためには経済の成長が欠かせません。入間市の魅力やにぎわいを維持できるように、さらに魅力アップできるように、市内の事業者を支援し連携しながら、魅力のプロモーションにも取り組んでいます。

ヘルスケアにつながる産業振興や観光促進等、商業面での取組を中心に、新しい魅力やにぎわいを生み出すことにもチャレンジしています。

こんな取組を進めています！

◆茶業振興

狭山茶の主産地である入間市。令和4年には「おいしい狭山茶大好き条例」を制定しました。これからもおいしい狭山茶を安定して生産し、飲み続けられるよう、スマート農業の実証実験や魅力的な商品開発、PRに取り組んでいます。



◆周遊観光

茶畑の景観を楽しめる茶畑テラス「茶の輪」をオープン！狭山茶を五感で味わうことができる素敵な空間です。市外からたくさんの方が訪れるアウトレットとも連携し、市内の景観や魅力を楽しんでもらえるような取組を進めています。



◆新産業団地の創出

経済を活性化するため、圏央道青梅インターチェンジ周辺への、新産業団地の創出や企業誘致に取り組んでいます。

社会面の取組「ウェルネス・シティ」の実現



健康の維持・増進は、ウェルビーイングを支える重要なポイントです。少子高齢化により、人間市でも高齢者の割合が年々増加しています。いつまでも心身ともに健康に過ごせるよう、高齢者の健康寿命延伸に取り組んでいます。

コロナ禍で社会は大きく変わり、ICT（情報通信技術）を活用した新たなサービスが続々と生まれています。行政のデジタル化を進めるとともに、官民連携による地域課題の解決にも取り組んでいます。



こんな取組を進めています！

◆高齢者の健康維持・増進

高齢者の外出意欲を高め、健康維持・増進につなげていくため、大学や病院、企業と連携した実証実験を行いました。

健康教室、スポーツ教室なども実施しています。



◆DX(デジタルトランスフォーメーション)による公共サービスの利便性向上

マイナンバーカードを利用するとコンビニで証明書を取得できるなど手続きが便利になるため、マイナンバーカードの交付体制を強化しています。また、地区センターでは本庁の専門部署にオンラインで相談をすることができます。

◆公共施設マネジメント

将来にわたって、人々が暮らしやすいまちを維持していくため、社会環境の変化に合わせて公共施設のあり方を見直すとともに、計画的に再整備や再配置、維持管理を進めています。

環境面の取組「ゼロカーボン・シティ」の実現



将来の世代に豊かな地球環境を残していくためには、今まで当たり前だった行動や生活を見直し、環境にやさしい暮らしを当たり前にしていく必要があります。

エコバックの利用、食品ロスの削減、ゼロカーボンドライブ等、一人一人の心がけから行動が変わっていくように普及啓発を進めるとともに、再生可能エネルギーの需要拡大や安定供給を実現していくため、市民や民間企業と連携した検討を進めています。

こんな取組を進めています！

◆地域新電力の誘致・創出

2050年のゼロカーボンシティの実現に向けて、市民や企業と連携・協働するために、人間市ゼロカーボン協議会を設立しました。

◆ゼロカーボンドライブの推進

公用車にEV（電気自動車）を導入。市役所駐車場棟の屋上に設置した太陽光パネルで発電される電力をEVで利用しています。



市民の皆さんもカーシェアリングで利用することができます。



◆食品ロスの削減

人間市オリジナル「てまえどり」POPを市内コンビニ等の店舗で掲示。商品棚の手前にある商品を選ぶ「てまえどり」を呼びかけています。



入間市SDGs未来都市計画

Well-being City いるま

～健康と幸せを実感できる未来共創都市～

《優先的なゴール》



経済

- ・新産業団地の形成
- ・狭山茶振興
- ・周遊観光

「スマートヘルス・シティ」

事業者にとって
Well-being
なまち

社会

- ・高齢者の健康維持・増進
- ・DXによる公共サービスの
利便性向上

「ウェルネス・シティ」

誰もが心身ともに
健康で過ごすこと
のできるWell-
beingなまち

環境

- ・地域新電力の誘致・創出
- ・ゼロカーボンドライブ
- ・食品ロスの削減

「ゼロカーボン・シティ」

地球環境にやさしい
すべての生物にとって
Well-beingなまち

《2030年のあるべき姿》 健康と幸せを実感できる Well-being City いるま



入間市長 杉島一郎

SDGsは、今、入間市に住んでいる皆さんも、これから生まれ育っていく子どもたちも、お互いの豊かさを損なうことなく、幸せに暮らしていくための目標です。SDGsを達成するための取組を通じて、市民の皆さんが健康と幸せを感じられるための種を、一粒でも多く蒔いていきたいと考えています。Well-beingの花をたくさん咲かせるためには、種まきや水やりには皆さんの協力が必要です。ぜひ自分にできること、身近なことから一歩ずつ、一緒にSDGsに取り組んでいきましょう。

入間市教育委員会が毎年行っているタブレットを活用した児童生徒へのアンケートでは、小学校5、6年生の39%、中学生の43%が「SDGsを人に説明できる」、小学校5、6年生の75%、中学生の87%が「SDGsの内容を知っている」との回答があり、皆さんの関心の高さに感動しました。小中学生の皆さんが、広い視野を持ってSDGsについて考え、身近なことから実践することで、「豊かな未来を創り、今の幸せを実感できる素敵な入間市」を創っていきましょう。



入間市教育長 中田一平

編集・発行

入間市企画部企画課

〒358-8511 埼玉県入間市豊岡1丁目16番1号
TEL：04-2964-1111

